

企 画 名 : 知ろう! 測ろう! つながろう! 市民による東日本土壌ベクレル測定プロジェクト  
団 体 名 : みんなのデータサイト運営委員会

## 1. 報告要旨

このプロジェクトは、各地の市民グループと複数の市民測定所が協力し、東日本の広範囲にわたる土壌を採取し、放射能を測定することにより、福島第一原発事故による広域の放射能汚染の広がりを明らかにすることを目指しています。東日本全体をマップ化するには相当の時間と準備が必要ですが、今期(2015年3月までのフェーズ1)は、パイロット的に、体制の整った地域からプロジェクトをスタートさせました。

結果として、2015年3月までに、土壌測定プロジェクトの目的や実施方法、参加・協力の呼びかけなどを含めたウェブサイト <http://www.minnanods.net/soil/> のシステムとデザインを完成させ、宮城、岩手を中心に、470件以上の土壌測定結果のデータを登録して、一般に公開しました。

土壌のサンプルを採取する各地での体制づくりとしては、2015年1月31日から2月1日にかけて、埼玉で講習会を実施し、実際に土壌を採取するワークショップを行ったほか、3月29日には、都内で交流会を実施して、みんなのデータサイトに参加する各地の市民放射能測定所(北海道、東北、関東、東海、北陸、近畿、中国、九州から参加)の関係者と、「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」に参加する方など、地域での土壌採取に参加して下さる方が集まり、今後のプロジェクトのすすめ方などについて意見交換を行いました。この様なかたちで、順次、各地での土壌採取・測定体制を整えていくことで、2016年3月までのフェーズ2で、東日本17都県にわたる広域の汚染マップを作成する予定です。

このプロジェクトに ABT の助成が得られたことは本当に大きな支えになりましたが、この実施には、さらに多くの方の支援が必要であり、そのためのクラウドファンディング <https://moon-shot.org/projects/68> もスタートさせました。このクラウドファンディングも、このプロジェクトへの理解を広げ、土壌測定の結果を多くの方に伝えていく重要なツールだと考えています。

17都県という広範囲にわたり、土壌採取・測定を行うことは、「みんなのデータサイト」の現時点の組織基盤から見ても、実力以上の大きな挑戦であり、多くの方のご支援、ご参加をお願いしたいと考えています。

## 2. 成果物

1. 本件プロジェクトのデータベースシステムを構築し、プロジェクト情報を整理して各種ページを作成し、[ウェブサイト](#)として公開した。
2. 本件プロジェクトによる新規の土壌サンプル採取(約160カ所)を実施し、本件プロジェクトのウェブサイトには、先行して採取していた土壌サンプルをあわせて[約470件のデータを登録し、公開した](#)。
3. 2015/3/29 [「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト第一回測定室&市民交流会」](#)を実施した。
4. 本件プロジェクトに関する[クラウドファンディングのサイト](#)を作成、公開し、資金調達に努めている(6月21日に目標額達成)。
5. [土壌マップシステム](#)を準備し、3月29日に先行公開した。
6. 3月13日に『週刊金曜日』にて事務局長石丸のインタビュー「市民放射能測定所が見た“汚染”のいま」が掲載され、土壌プロジェクトについても告知された。